



3^中

L



ve
triple C

小平第三中学校だより

令和6年度 第10号

令和7年2月発行

「 梅の花 」

校 長 平 沢 晃



2月と言えば・・・

2月の別名、和風月名は「如月(きさらぎ)」です。如月の由来は諸説ありますが、もっとも有力なのは「衣更着(きさらぎ)」が語源という説だそうです。衣更着とは、寒さに備えて重ね着をするという意味です。確かに、今月、4日には最強・最大の寒波が襲来という報道がなされていました。東京でも雪が降る所があり、まだまだ寒さが続きそうです。重ね着の防寒対策は必要です。

2月には他にもたくさんの別名や異称があります。例えば、初花月(はつはなづき)というのがあり、これは年が明けて最初に咲く梅の花を指す言葉だそうです。

2月の花はと検索すると、椿、福寿草、水仙と並ぶ中、一番目に梅の花があがります。これから梅の開花シーズンです。そしてこの時期は受験シーズンです。奇しくも、日本で名高い学問の神様、菅原道真は詠んだ歌や飛梅という伝説※1にもあるように、幼少の頃からその生涯を終えるまで梅の花をこよなく愛した方でした。「天満宮」と名前に付く神社は全国各地にあります。ほぼすべてが菅原道真公を祀っていますが、各地とも梅が植えられ、神紋には梅の模様が描かれているとのことです。学問の神様として祀られている菅原道真公に天満宮に参拝に行けなくても、梅の花を見かけたら学問の神様を感じてみてはどうでしょうか。梅の花が自分の培ってきた力を十分に発揮できるように応援してくださるかもしれません。校庭にある梅の花もそう思ってくれていると思います。

2月の学校では、3年生が自分の進路決定に向け取り組んでいます。推薦入試、私立の一般入試を終え、残すは都立高校の一般入試となりました。1・2年生は学年末考査があります。今月はじっくりと学習の時といってもいいでしょう。

試験は学習する目的の一つとして位置づけられますが、それを終えたあとも継続することが大切です。学習の継続は、成績向上や試験の合格への近道になるだけでなく、生活リズムの改善や自己肯定感の向上などさまざまなメリットがあります。また、継続することであきらめない力や続ける力、周りと一緒に課題に取り組むといった「非認知能力」も育みます。これからの自分のため、新たな生活のスタートのため、自分の力を高めるべく取り組んでください。

「1月は往ぬる二月は逃げる三月は去る」という言葉が示すように日々があわただしく過ぎていきます。この季節に咲き彩る花も梅から桜へと変わっていきます。試験の後には合格発表、合格発表で「サクラサク」※2とい電報が使われていますが、まさに季節の流れを表していますね。

梅の花が受験生を応援してくれ、桜がお祝いをしてくれる。3年生の「サクラサク」がいっぱい聞け、全員の進路が無事に決まることを願う日々です。



※3中には、蠟梅(ろうばい)が咲いています。



※1『飛梅（とびうめ）伝説』

901年、菅原道真は太宰府へ左遷されることになりました。突然京都を離れることになった道真は、日頃から愛でていた梅の木に別れを告げるこんな歌を詠みました。「東風吹かば 匂ひおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春な忘れそ」この解釈は、東風（こち。春風のこと）が吹いたら、香りをその風に託して大宰府まで送り届けておくれ、梅の花よ。主である私がないからと言って、春を忘れてはならないよ」という解釈になります。この梅の木と離れてしまう寂しさと、太宰府に行っても忘れずにいたいという願いが込められた歌です。そんな道真の想いを感じた梅の木は、一晩で太宰府へ飛んでいきました。この梅の木が、太宰府天満宮にある、樹齢1,000年を超えたご神木である白梅のことで「飛梅」と言われています。

※2「サクラサク(合格)」 「サクラチル(不合格)」

この文言は、大学の合格発表の電報で使われています。この文言がはじめに使われたのは早稲田大学だと言われています。



スキー移動教室(1年生)

先日、1年生は長野菅平にスキー教室に行きました。

10月のオリエンテーションから、今回のスキー教室を「1年の集大成」と位置づけ、①集団行動のルール、マナーを身に付けること、②1学年の絆を深めること、を目標に準備を進めてきました。

当日は天気にも恵まれ、全員が楽しくスキーに臨むことができました。特に驚いたことは、“生徒たちの行動の速さ”です。自分たちで時間を確認し、しおりを見て主体的に行動していました。その姿に感動するとともに、あらためて1学年の集団として素晴らしさを実感しました。私はそんな3日間頑張った生徒たちに、最後の食事の後、「今回のスキー教室で皆さんのことが大スキー(好き)になりました!!」と素直な思いを伝えました。

生徒同士の絆だけでなく、教員と生徒との絆も深めることができたスキー教室でした。来年の校外学習、3年の修学旅行でも、今の1学年なら素晴らしいイベントになると確信しています。



【1学年担当】

スキー宿泊学習(8組)



1月19日(日)～21日(火)菅平高原スキー場にて、スキー教室が実施されました。8組も通常級の1年生とともに参加してきました。

スキー教室前には「ソリがいい」や「リフト怖い」と不安になる生徒がいました。それでも3日間の講習終了後には「もっと滑りたかった」という言葉が聞こえ、全員が最後まで滑り切ることができました。

日記には「楽しかった」という感想を全員が書いており、思い出に残る最高のスキー教室となりました。

【8組担当】

校外学習(2年生)

「都内巡りを終えて」

1月31日(金)、天気にも恵まれ、二学年は東京都内の観光名所を班ごとに巡る都内巡りを行いました。二学期から始まった準備の段階から、自分たちだけで計画を立案し、当日は実際に行動に移すということに、最初はとまどっている様子も見受けられましたが、準備を進めていく中で、班のメンバーで協力しながら、楽しく計画を立てている様子がうかがえるようになりました。

そして迎えた当日。朝の満員電車で揺られながら各々の見学地に向かいました。電車の乗り換えがスムーズにできなかった班など、慌てる場面もあったかとは思いますが、それぞれの班が協力して、自分たちで判断し、しっかりと見学することができたのではないのでしょうか。

上野や浅草寺でいくつかの班とチェックポイントで会うことができましたが、どの班も充実した顔をしていて楽しんでいる様子が印象的でした。

今回の経験を通じて、一人ひとりが多くのことを学びましたが、特にクラスメイトとの団結力が深まった、そんな都内巡りになったのではないかと、最近の各クラスの様子から感じることができています。このまま良い雰囲気で三学期が終えられるように頑張っていきましょう。そして、来年度の修学旅行では今回の都内巡りの経験が生き、より充実した行事を創り上げていってほしいと思います。



【 2 学年主任 】

小学生中学校体験

「小学生中学校体験を終えて」



小学生中学校体験を無事に終えることができました。

生徒会役員が小学生中学校体験のために作成したしおりは見た人のほとんどから「素晴らしい」という言葉をもらい、体育館での説明のために作成したスライドは小学生や教員から「見やすかった」と感じてもらえました。

生徒会役員や専門委員長が行った中学校生活の説明を通して、小学生から多くの質問があがり、校舎見学を通して、「入学したら校舎で迷わないか心配」といった声が聞こえ、小学生にとっても中学校の生活を前向きにイメージする良い機会となったと思います。

中学校生活の説明の際にあった小学生からの質問に対して、生徒会役員や専門委員長が素早く話し合い返答をする姿や、校舎案内で臨機応変に対応する姿など、生徒の立派な姿が多くみることができました。



【 生徒会担当 】

生徒の活躍

☆書画

○第92回全国書画展覧会書の部 【特選】 2名

☆人権作文

○令和6年度全国中学生人権作文コンテスト

【奨励賞】 1名 【小平市人権擁護委員会賞】 1名

★百人一首

○第26回稲城市民かるた大会初任者B【準優勝】 1名



★陸上競技

○第63回東京都中学校ロードレース大会 男子2・3年2km競走【7位】

女子2・3年1km競走【8位】

○第45回こいだいら市民駅伝大会

中学生男子の部【優勝】Aチーム

【3位】Bチーム

【9位】Dチーム

【12位】Cチーム

中学生女子の部【2位】Aチーム

【区間賞】中学生女子の部【第4区】で受賞

中学生男子の部【第2区】【第3区】【第4区】で受賞



★吹奏楽

○第48回東京都アンサンブルコンテスト 木打六重奏【金賞】

※3月20日(木)福井県立音楽堂ハーモニーホールふくいにて行われる

第48回全日本アンサンブルコンテストに代表として選出されました。



これからの予定

○2月26日(水)・27日(木) 学年末考査

○2月28日(金) スピーキングテスト(1・2年生)

○3月3日(月) 全校朝礼・安全指導

○3月4日(火) 1・2年生保護者会

○3月5日(水) こどもを笑顔にするプロジェクト 5・6校時

○3月6日(木) 避難訓練

○3月10日(月) 生徒会朝礼

○3月14日(金) 卒業式予行

○3月17日(月) 3年生給食終了

○3月19日(水) 第64回 卒業証書授与式

